



今回の  
運営委員会

## 椋南支店 HAINAN SHITEN

このコーナーでは、独自の活動を展開する運営委員会の様子を紹介していきます。

### 運営委員会とは…

会員(組合)の代表者とくろうきんの営業店職員で構成される組織。くろうきんの運営を民主的に行うため、理事会に向けて各員の率直な意見を発信するとともに、理事会で決定した方針や事業計画を各営業店の立場から、より具体化して地域会員・勤労者に展開しています。



運営委員長 宮島篤好さん  
副運営委員長 加藤二三男さん  
副運営委員長 宮川真一さん  
運営委員 長澤志俊さん  
全矢崎労働組合 椋南支部執行委員長  
スズキ労働組合 相良支部長  
小糸製作所労働組合 椋南支部長  
南部化成労働組合 執行委員長



運営委員 青島知也さん  
運営委員 小林義和さん  
四之宮重範さん  
オカモト労働組合 静岡支部 支部長  
AGCテクノグラス労働組合 書記長  
椋南支店 支店長



## 目指せ!「へろくきん」想起率No.1!!

### 専門部会による運営委員会の活性化を通して

**全目標クリア!**  
専門部会が貢献!  
宮島/運営委員会、会員ならびにくろうきんの三位一体の取組みにより、2016年度は全ての目標をクリアできたことを大変嬉しく思います。運営委員会の活性化を目指し、小笠支店運営委員会の活動を参考にしながら、2017年度より専門部会を本格的に立ち上げました。専門部会での活発な議論を経て、会員の皆さんへの情報発信できたことが成果につながったと感じています。更なる運営委員会の活性化を目指し、専門部会での企画・議論を充実させていくことが2017年度の課題です。

### くりえいてい部と しあわせアピール部

椋南支店の運営委員会では昨年度、委員の活発な活動と議論への参加を目指して、ユニークなネーミングの2つの専門部会を立ち上げました。くりえいてい部(企画)は資産運用セミナーの企画運営や住宅取得者向けの失敗事例集「しじりBOOK」の作成・提供等、「組合員が真に求めることを企画すること」を目的に活動しました。また「しあわせアピール部(広報)」は「組合員が見たくなる情報を提供すること」を目的として「ハビネス(壁新聞)」の年4回発行に取組み、「ハビネス」が家庭持ち帰り特別号「は会員を通じて多くの組合員に配布し、情報提供することができました。」

### 運営委員全員参加 プロジェクト!

宮島/昨年度よりスタートした専門部会の一年目の活動にはとても満足していますが、具体的に進めて



(セミナー終了後) (セミナー開始前)  
くりえいてい部(広報)/資産運用セミナーアンケート調査資料

話合いができるのがいいですね。ただ各部会が別々の討議することになるので、今後は部会ごとの情報を早いタイミングで共有していくことが、さらに活動に広がりが出てくるのではないかと感じています。  
青島/運営委員全員が役割を持って参加するようになったのは大きな成果だと思っています。壁新聞づくりなどについても、以前は二役の皆さんが作成でしたが、現在は「しあわせアピール部」の運営委員全員が分担して記事を受け持つような参加の仕組みができています。



しあわせアピール部(広報)/全員配布「ハビネス特別号」(左)、季刊発行「ハビネス」(右)

### 組合員の皆さんにも 知っていただきたい!

宮島/各組織の組合員への情報発信や教育についてはいかがでしょうか?  
宮川/運営委員会で決まった内容を自組織で展開する場合、書記から発信してもらったことが多かったのですが、専門部会への参加により、私自身も具体的な情

報発信を積極的に行うようになりまし。小林/興味を持って組合員にはうまく伝えることができている。ただ広がりという意味では、興味・関心を持っていない組合員に対する情報発信の仕方が課題であり、今後も工夫してはならないと感じています。  
長澤/事業所が別れていたり、掲示板等への掲示について物理的な制約があったりするため、有益な情報と思われものについてはパソコンの社内掲示板にアップしています。  
加藤/組合の掲示板をできるだけ見やすい場所に移動し、ハビネスなどの掲示により、運営委員会の活動を多くの組合員に見てもらっています。目に触れた時に「これ何だろう」と興味を持ってもらうところから始め、いずれはセミナー等への参加者を増やしていければいいと思います。  
青島/専門部会の活動自体は徐々に活性化しつつありますが、各運営委員が自組織に持ち帰ってからの情報伝達については、書記を含めた役員間の情報共有にどまってしまうことも多く、組合員への周知を工夫していかなくてはならないと感じています。

四之宮/昨年度の専門部会の立ち上げにより、運営委員の皆さんが主体的かつ積極的に、運営委員会活動に関わっていただけの環境も整ってまいりました。運営委員会から各会員組織のくろうきん活動の活性化につなげていくことが今後の課題です。さらに専門部会が進化したものと内容が職場の皆さんに広くお伝えいただき、くろうきん想起率の向上ならびに利用拡大につなげていき、多くの働く仲間の夢実現のお手伝いをしていきたいと思っています。  
次回  
どの支店に  
訪問するかお楽しみに!

